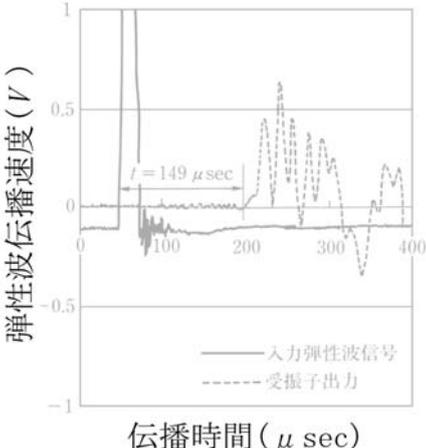
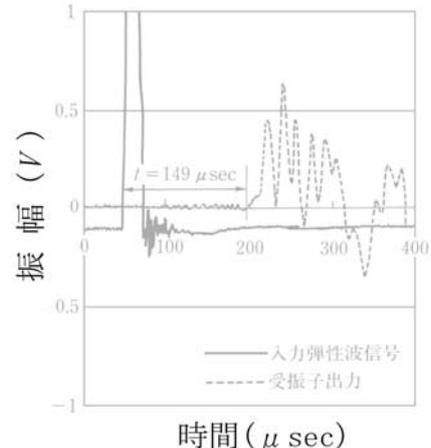


コンクリート診断技術'17 正誤表

「コンクリート診断技術'17」の記述につきまして、下表のとおり訂正します。

2018年 3月 16日

コンクリート診断士講習委員会

編・頁	段・行	誤	正
基礎編 p.125	右段 下から 10行目	コアの高さが直径の2倍より小さい場合には、	コアの高さと直径の比が1.00以上1.90未満の場合には、
基礎編 p.144	左段 図3.6.2-4 縦・横軸の タイトル部	 <p>弾性波伝播速度(V)</p> <p>伝播時間(μsec)</p> <p>— 入力弾性波信号 - - - 受振子出力</p>	 <p>振幅(V)</p> <p>時間(μsec)</p> <p>— 入力弾性波信号 - - - 受振子出力</p>
基礎編 p.152	右段 下から 7行目	空洞のように、コンクリートよりも密度が小さい物質では逆位相の反射が起こり、鋼材のように、コンクリートよりも密度が大きい物質では、同位相の反射が起きる。	空洞の場合は、空気の比誘電率がコンクリートのそれよりも小さいため、入射波と同位相の反射が起こり、鋼材のように、コンクリートよりも比誘電率が大きい物質では、逆位相の反射が起きる。
応用編 p.82	右段 上から 8行目	表4.3.1-5	表4.3.1-7
応用編 p.82	右段 上から 12行目	図4.3.1-7	図4.3.1-5